

報道関係者各位

2023年6月14日
グロース・キャピタル株式会社

グロース・キャピタル、効果検証可能な IR によって 上場企業の成長を促す個人投資家向け新サービスを提供開始

～東証 PBR1 倍割れ改善要請/新 NISA 高度化が期待される IR コミュニケーション水準の向上に貢献～

上場ベンチャーの事業成長を促す「攻めのファイナンス」を支援するグロース・キャピタル株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：嶺井政人、以下グロース・キャピタル）は、企業の投資家に向けた IR において、**独自メソッドで費用対効果を可視化する新たな個人投資家向け新サービス「IR インサイト」**を発表したことをお知らせいたします。



■サービス発表の背景 [株式市場を取り巻く環境と IR・開示の重要性の高まり]

23年3月に東証は、PBR（株価純資産倍率）1倍割れの上場企業へ改善要請を行いました。1倍割れの企業が放置されることは、海外含む投資家から「投資先として魅力がない」と判断され、日本企業の国際競争力に大きな影響を与えるリスクに繋がります。東証による働きかけをきっかけに、上場企業の間では適切な企業価値評価への意欲が高まっています。

また、政府による「資産所得倍増計画」の一環として、24年1月より新 NISA 制度が開始されると、個人投資のさらなる活性が見込まれています。その中で、国内の個別銘柄も買い上げが増加するのではと期待されています。

上記の理由から、今後 IR・開示への関心は一層高まっていくことが予想されます。

しかし、企業サイドで IR への関心が高まっている一方、実際の取組みとその評価はどのようなのでしょうか。企業側の実態を把握すべく上場企業役員や IR 担当者を対象に調査※を行いました。調査の結果、**上場企業は IR の重要性を理解している一方で、IR の取組みは費用**

対効果を測定しづらいため、限られた予算やリソースの中で優先順位を上げて取り組むことが難しいという大きな課題があることが確認できました。上場スタートアップは株式による資金調達で成長において不可欠ですが、効果測定が難しくリソース・予算を投下できないため、数千社ある上場企業の中から自社を認知してもらうためのIR活動にコストを割けない現状があります。

※ Appendix グロース・キャピタル調査「■上場企業の個人投資家向けIRの課題調査」参照

■個人投資家向け新IRサービス「IRインサイト」

グロース・キャピタルは上記のような「IR取組の効果が見えない・費用対効果を検証できない」という悩みに対し、独自メソッドで費用対効果を可視化する新サービス「IRインサイト」を正式に提供開始いたします。

サービス Web ページ : <https://www.gckk.co.jp/business/irinsight/>

「IRインサイト」は参加者が「株式を購入したか」まで検証できる個人投資家向けIRイベント&リサーチサービスです。従来のIRにはないマーケティング視点で「攻めのIR」を支援します。

■IRインサイト4つの特徴

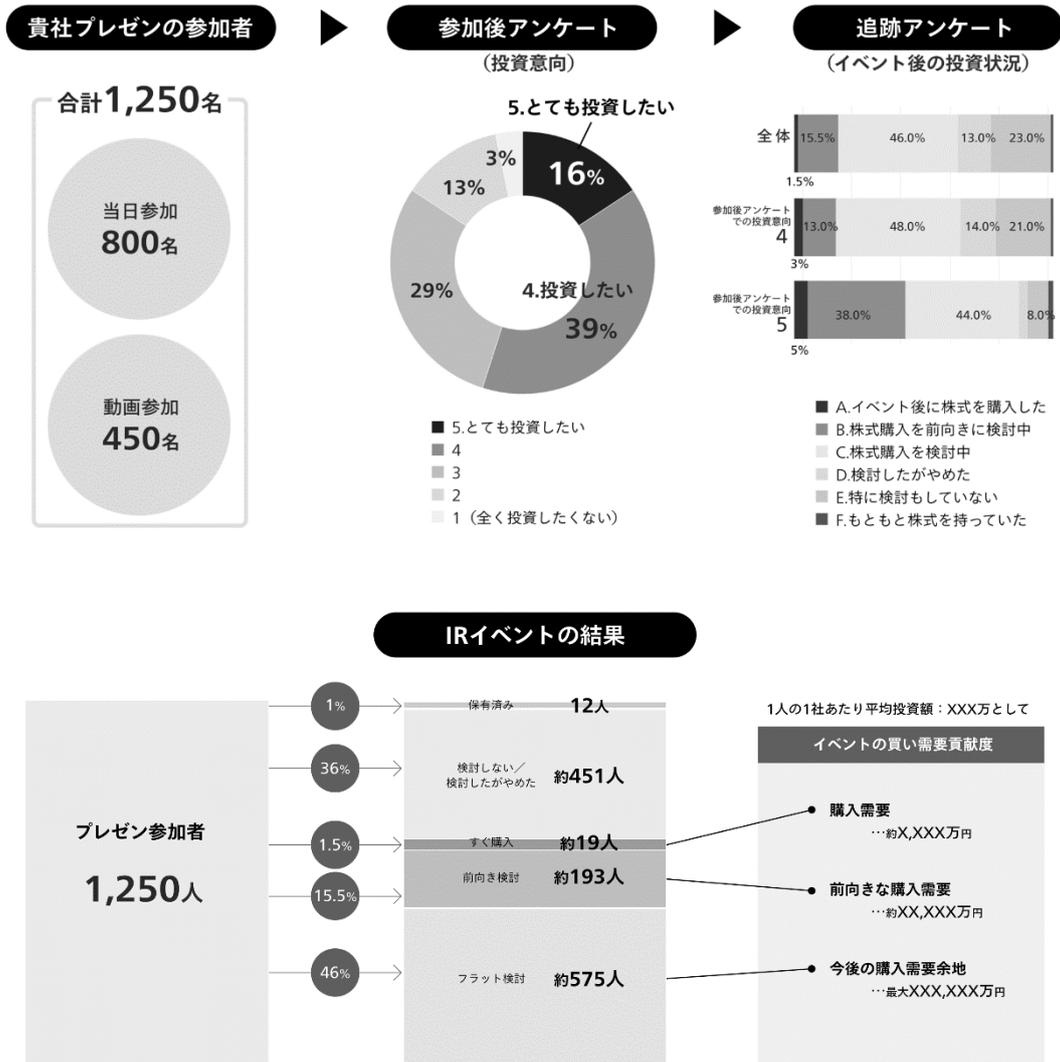
1. 大規模集客—1,000人以上の個人投資家を集める企画・集客力

多くの個人投資家向けIRイベントは参加者が数十名~数百名程度ですが、経営者がプレゼンテーションに割く時間を考えると、時間対効果が高いとは言えません。本サービスは、当社が抱える上場ベンチャーに関心のある1万人以上の個人投資家会員や、積極的な新規投資家の集客により、毎回約1,000人の投資家にご参加頂いています。

開催日	時間	参加者数
2022年11月29日	19:00-21:15	1,300人
2023年1月26日	19:00-21:15	1,250人
2023年4月25日	19:00-21:15	1,000人

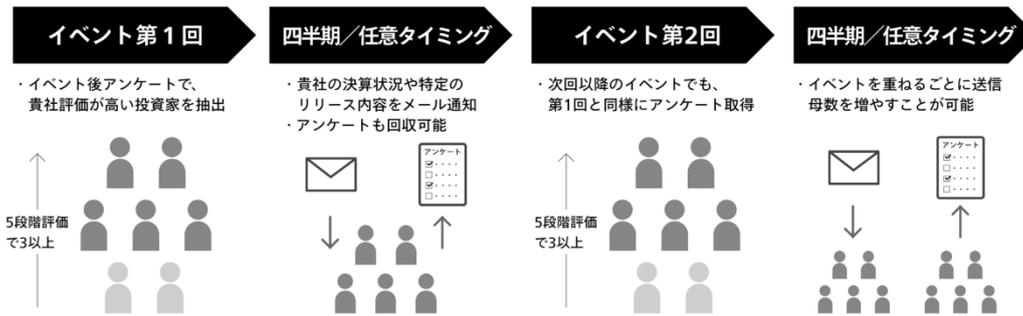
2. 効果検証—多段階アンケートで購入有無まで検証

イベントでの「印象」だけでなく、実際の「行動」（株式が購入されたか、どのような情報が購入に向け調べられたか、何が評価され、何が評価されなかったのか等）までを定量的に検証します。また自社の結果だけでなく、過去登壇した発行体全体における相対的な自社の状態（購入率、評価状況等）も確認可能です。



3. 関係維持—メルマガでの情報提供で関心を維持する仕組み

イベント当日のプレゼンテーションで関心を持ってもらえたとしても、個人投資家の関心は日々移り変わってしまいます。これまでのイベントでは一度のプレゼンテーションでの接点しかなく、投資家に興味を持続していただくことは困難でした。本サービスでは、イベント参加者に発行体の決算情報やニュースをメルマガ配信し、継続的に関心を高めます。



4. **成果向上—独自のフレームワークで投資家に伝わりやすい資料に**

当社独自のフレームワーク、個人投資家へのリサーチに基づいた改善提案により、個人投資家に伝わりやすい資料・プレゼンテーションへのブラッシュアップをご支援し、イベント後の関心率・株式購入率の向上に貢献します。



詳細はサービス Web ページにてご参照ください。

<https://www.gckk.co.jp/business/irinsight/>

グロース・キャピタルは、事業の成長を促す「攻めの IR」を支援する、というビジョンのもと、「IR インサイト」を 2025 年 3 月末までに上場企業 100 社へサービス提供を行う考えです。

日本の個人投資家向け IR の水準が向上することで、株式市場・流通額が活性化し、資金調達が促され、結果、日本経済が成長していくことを期待しています。

■グロース・キャピタル株式会社について

グロース・キャピタルは、ベンチャー企業が上場後も非連続な成長を達成することを支援します。業務提携を通じて、株式を活用した資金調達および調達資金を活用した M&A・スタートアップ投資・新規事業・マーケティング等の成長戦略についても支援・実行を行うことで、上場後のベンチャー企業が成長をさらに加速し、日本およびグローバルのトップ企業となることに貢献します。

【会社概要：グロース・キャピタル株式会社】

Growth Capital

設立 : 2019年4月1日

代表者: 嶺井政人

所在地: 東京都港区南青山3丁目8番40号
青山センタービル 2F

URL : <https://www.gckk.co.jp>

■グロース・キャピタル代表 嶺井 プロフィール**嶺井政人 <Minei Masato>**

早稲田大学在学中にマーケティングソリューションを提供する株式会社セールスサポートを創業し、ネオマーケティングへ売却。2009年、モルガン・スタンレー証券に入社し、投資銀行部門およびクレジットリスク管理部門で主にテクノロジー企業の資金調達や格付業務に従事。2013年、マイネット CFO に就任。ファイナンスおよびマーケティング分野を中心に事業の成長を牽引、東証マザーズに上場。その後2016年より副社長に就任し東証一部上場を実現。2019年4月、グロース・キャピタルを設立。

■グロース・キャピタル IR インサイト 事業責任者 池田 プロフィール**池田 朋弘 <Ikeda Tomohiro>**

2008年、早稲田大学卒業後に株式会社ビービットに入社し、UXコンサルティング業務に従事。2013年、株式会社ポップインサイトを代表取締役 CEO として創業し、日本初のリモート UX リサーチ事業を展開。2017年、ポップインサイトが M&A を通じて東証プライム上場のメンバーズのグループ会社入り。その後、2021年3月までメンバーズの執行役員を務める。2022年4月、グロース・キャピタルに参画。

本件に関するお問い合わせ先

グロース・キャピタル株式会社 PR 事務局（ビルコム株式会社内）

担当：倉地・笹森

TEL : 03-5413-2411 FAX : 03-5413-2412 Mail : g_capital@bil.jp

本リリースに掲載された内容は発表日現在の情報です。

■ 上場企業の個人投資家向け IR の課題調査

調査対象

調査名 : 上場企業の個人投資家向け IR の課題調査
 集計期間 : 2023年1月16日(月)～3月1日(水)
 対象 : 上場企業で IR・財務に関わる方 : 144名
 役職 : 役員レベル 102名 ・ 役員以外 42名
 上場市場別 : 東証グロース 84名 ・ 東証スタンダード 15名
 ・ 東証プライム 41名 ・ その他 4名
 時価総額別 (2022年末)
 ・ 100億未満 66名 ・ 100～300億未満 46名
 ・ 300億～1000億未満 21名 1000億以上 11名

方法 : Web 実名アンケート

※2023年3月2日開催の成長企業の役員が集う「Growth CFO Camp Vol.3」申込時のフォームにて実名回答。284名の回答者のうち上場企業以外の回答は調査から除外

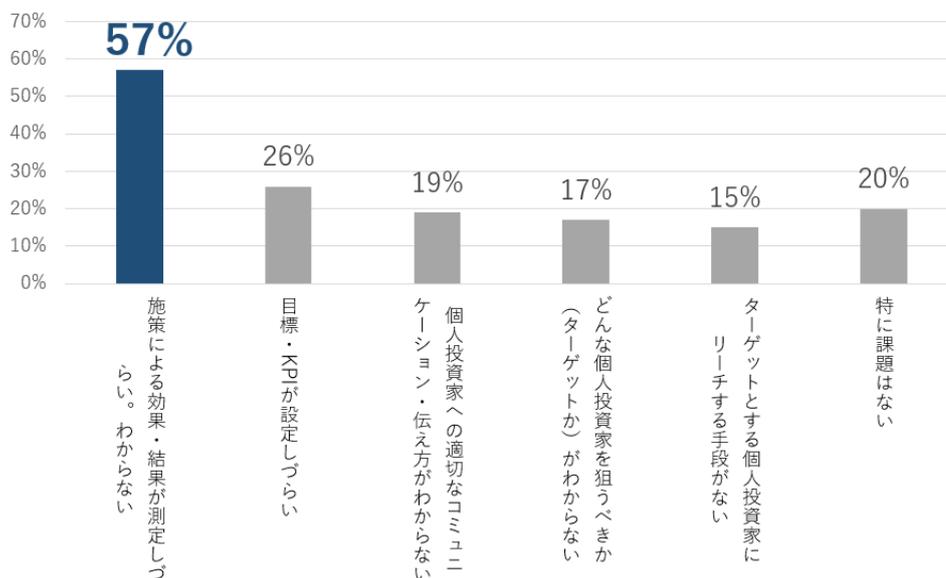
調査結果 1 : 全社の共通課題

「施策の効果・検証が測定しづらい」が約 6 割

調査結果1：全社の共通課題

「施策の効果・結果が測定しづらい」が約6割

Q. 個人投資家向けIR活動において課題感を感じていることを教えてください（複数回答）



調査結果 2：時価総額別

時価総額 300 億円未満で特に個人向け IR の課題感が強い

調査結果2：時価総額別

時価総額300億円未満で特に個人向けIRの課題感が強い

Q. 個人投資家向けIR活動において課題感を感じていることを教えてください（複数回答）

